

令和 5 年 8 月 16 日

「さかい子ども司書になろう！」講座第3回

本の紹介文をつくろう！



<紹介文をつくる時に必要な内容>

本の紹介文づくりでは、紹介文を読んでもらう人に、紹介されている本がどんな本なのかをわかってもらう必要があります。そのために、

- タイトル
- 作者
- 出版者

の3つは必ず書いてください。

今日はこの3つのほかに、

- キャッチコピー
- 本のあらすじ（内容）
- おすすめポイント

も書いてください。

<紹介文をつくる上でのポイント>

- ① 内容を書きすぎない。ネタバレしない！
- ② どういう人に読んでほしいか、想像しながら書く。（たとえば友達や家族など）
- ③ 自分が書いた紹介文を読んで、その本を手にとってみたくなるかを考えながら書いてみる。
- ④ 文章が書けないときは、短い文をいくつか書いてみる。
- ⑤ あまり長くならないように、伝えたいことは1つにしぼる。
- ⑥ キャッチコピーでは、注目してもらえそうな言葉を使う

<紹介文をつくる上で必ず守ってほしいこと>

・人の文章をまねしないこと！

自分の考えや気持ちを文章にしたり、映像^{えいぞう}にしたりしてできたものを「著作物^{ちよさくぶつ}」とい
います。その「著作物」をつくった人には「著作権^{ちよさくけん}」という権利^{けんり}が与えられます。

この著作物を、著作権を持つ人に無断^{むだん}でコピーをして、それを公開^{こうかい}することは法律^{ほうりつ}で
禁止^{きんし}されています。

本やインターネットに出ている文章や絵には著作権があります。それだけではなく、
友達の描いた絵や本の感想文などにも著作権があるので、人の文章をまねした
り、絵を丸写ししたりすることは絶対^{ぜったい}にやめましょう。

かならず自分の言葉で、自分の気持ちを書くようにしてください！

これらのきまりごとを守^{まも}ってもらえれば、あとは自由^{だいじょうぶ}に書いても大丈夫です！

• こんなところをおすすめしたい！
• ここに注目してもらいたい！
など、みんなの素直な気持ちを書
いてね！
絵を描いてもOKだよ！！

